

災害に抗して

編集 感染症対策研究部会 (yamada@peace.email.ne.jp)

2021・3・11 No.29

いのちを守ろう！

— 75歳以上患者2割負担を止めよう！ —
ブックレットが出来ました！

政権はコロナ災害の最中に、2022年後半から75歳以上の医療費患者負担を2割負担＝実質的に2倍の負担に引き上げようとしています。その負担増の「理由」＝「口実」とは、「現役世代の多額な保険料の軽減が必要だ」「世代間の公平性を」などです。

しかし厚生労働省の2021年1月の試算では、この75歳以上2割負担化を実行しても、現役世代の保険料軽減は一人平均年間700円の軽減にしかありません。その一方で公費負担は980億円、そのうち国は630億円以上もの軽減にもなるのです。しかも2割負担化となると、現在でも進んでいる高齢者の受診抑制の傾向がさらに強まり、医療費の公費負担はさらに軽減されることとなります。また受診抑制がすすめば、より多くの高齢者のいのちが失われることは確実です。高齢者の生活といのちを奪うこの負担増を全世代の力で、ストップさせなければなりません。

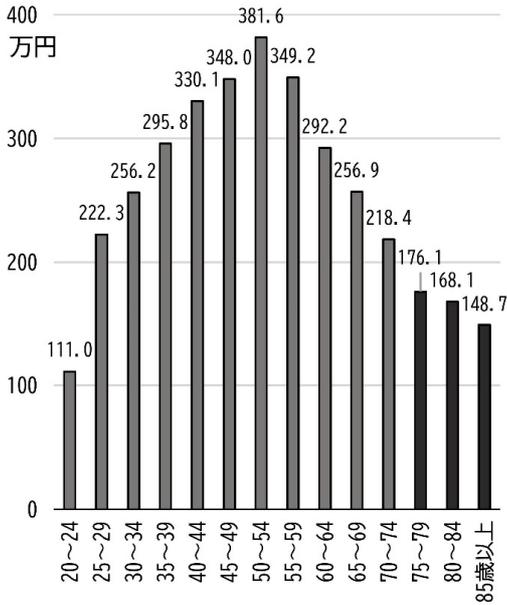
「いのち」と「人間性」の問題を考えるブックレットを作成しました。ぜひ活用してください！

感染症対策研究部会

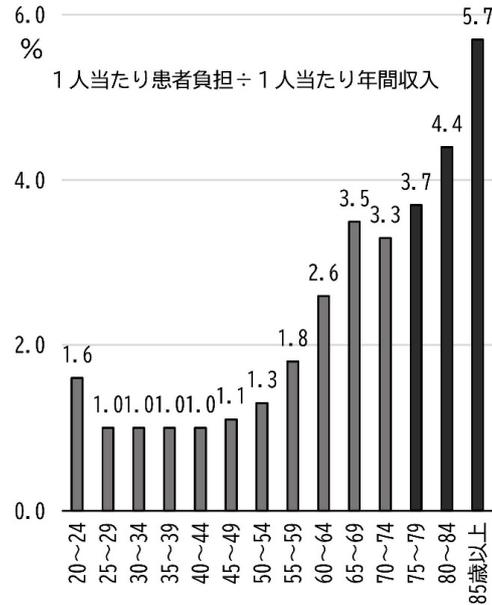
顧問 千田 忠男 (全国労働安全衛生学校学校長・同志社大学名誉教授)
相談役 福島みずほ (参議院議員) 中島 克仁 (衆議院議員)
阿部ともこ (衆議院議員) 宮沢 ゆか (参議院議員)
部会長 山田 厚 (全国労働安全衛生研究会代表・メールマガジン編集責任)

- ◆ 連絡先 甲府市北口3-7-13 (電話 055-254-4402 FAX 055-254-4403)
- ◆ 労安研 HP <http://rouanken.org/>
- ◆ Mail yamada@peace.email.ne.jp

1人当たり年間収入



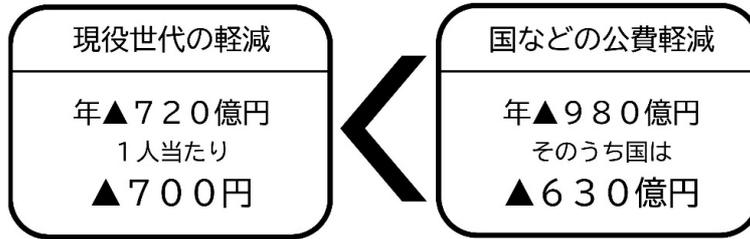
1人当たり年間収入に対する患者負担の比率



患者負担は厚生労働省「医療保険に関する基礎資料」(2019年)より
 年間収入は国民生活基礎調査の厚生労働省保険局特別集計(2019年)より

2割負担による財源でどこが軽減されるか？

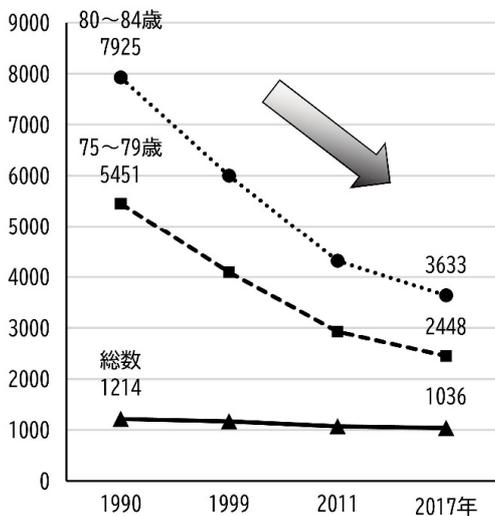
現役のためではなく、国などの公費の軽減です



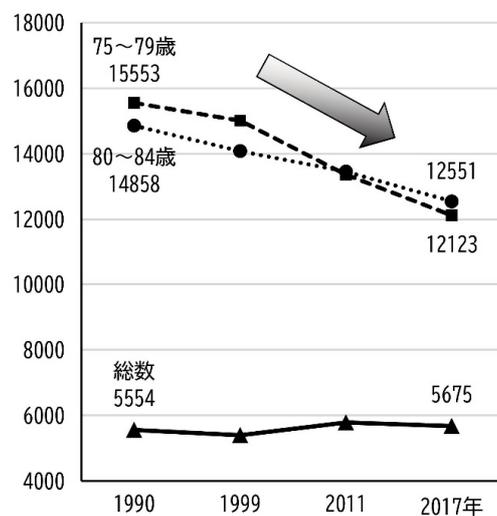
2021年1月厚生省資料より作成

高齢者の受診抑制はこれまでも強まってきました

入院受療率 (人口10万対)



外来受療率 (人口10万対)



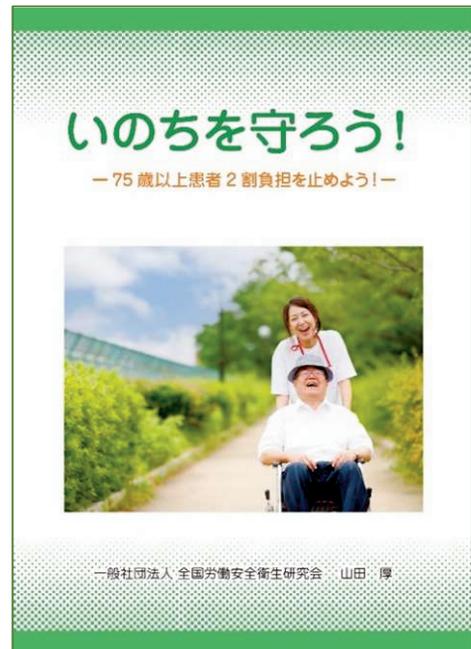
資料 厚生労働省「患者調査」より作成

いのちを守ろう！

－75歳以上患者2割負担を止めよう！－

政権は2022年後半から75歳以上の医療費患者負担を2割負担＝実質的に2倍の負担に引き上げようとしています。その負担増の「理由」とは、「現役世代の保険料負担の軽減」「世代間の公平性」などです。しかし今回の患者負担2割化でも、現役世代の実質的な保険料軽減にはつながらず、もっぱら国をはじめとする公費支出の軽減になるだけです。高齢者患者負担2割化に潜む「いのち」と「人間性」の問題を考えました。高齢者のいのちを奪う負担増を、全世代の力でこの流れをストップさせていきましょう！

- ・ 苛酷な75歳以上患者2割負担の状況
- ・ 年金削減・税・保険料負担で生活苦に
- ・ 負担増は受診抑制でいのちの危険に …など



頒 価 **500円** (送料100円、5冊以上送料無料)

10冊ごとに+1冊おまけとしてお付けします

下記宛に FAX かメールでご注文下さい

◆FAX：055-254-4403 ◆メール：yamada@peace.email.ne.jp

発行 一般社団法人全国労働安全衛生研究会
〒400-0024 甲府市北口3-7-13 ◆電話：055-254-4402

御名前	
御住所	〒 -----
電 話	
500円× _____ 冊数 = 計 _____ 円	

75歳以上患者負担2割化の徹底審議を求める請願署名

政府の全世代型社会保障会議の最終報告で、現在「原則1割」の75歳以上の高齢者の医療費患者負担を「原則2割」に導入することが方針化されました。

今回の方針では、年収200万円以上、夫婦は年収320万円以上の世帯を対象に2022年から始めようとしています。そうすると1人あたり少なくとも平均11万5千円の患者負担となります。しかも今後は、さらに厳しい低所得世帯にまで「原則2割」負担を広げるばかりか、「3割負担」の対象をも広げようとしています。

今の高齢者の生活苦は深刻です。年金は減らされ続け、税金は様々な控除の廃止や消費税増税が続き、そして介護や医療の保険料負担も強まるばかりです。高齢者は病気も多く、医療をより必要とします。すでに収入における患者負担の割合は現役世代の4倍～5倍です。そのため医療をガマンする傾向も明らかです。それが患者負担2割＝実質2倍負担では、高齢者のいのちを必ず危うくします。

菅政権は「現役世代の保険料負担を軽減するため高齢者に応分の負担を」としていますが、これは違います。この患者2割負担で一番軽減されるのは国などの公費負担です。また、医療における公費負担の撤退は、高齢者からはじまり全世代に波及していることも、これまでの流れからも明らかです。高齢者の生活といのちを守り全世代の健康を守るために、以下の事項を請願します。

請願事項

75歳以上の患者負担2割化に対しての徹底審議を求めます

氏名	住所

〈呼びかけ団体〉

〈取扱い団体・個人〉